

# 競 技 注 意 事 項

本大会は、2026年度日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会申し合わせ事項によって行う。

## 1 練習について

練習は、陸上競技場および雨天練習場を原則とする。（補助競技場使用不可）

### (1)陸上競技場

①以下の時間帯にトラックのみ利用を認める。レーンの使用については、以下のとおりとする。

審判員の指示に従い、準備等の妨げにならないようにすること。また、安全面とともに他の競技に影響が出ないように十分に留意すること。

<7:00~8:30>

- ・1~2レーンは周回練習のみ使用可とする。ただし、集団走は禁止する。
- ・3~4レーンは短距離練習のみ使用可とする。
- ・スターティングブロックを使用した練習は、100mスタート付近の3・4レーンからのみとする。
- ・ハードル練習については、ホームストレート5~7レーンを100mH、8・9レーンを110mHとし、ハードルの設置は5台とする。
- ・リレーの練習は、第2コーナー（第2ゲート前付近）の8・9レーンのみとする。

<10:45~13:20 第1曲走路やり投助走路付近から200mスタート付近までの約150m>

- ・スターティングブロックを使用した練習は、1500mスタート付近の7~9レーンからのみとする。
- ・リレーの練習は、第2コーナー（第2ゲート前付近）の5・6レーンのみとする。

<13:50~14:20 第1曲走路やり投助走路付近から棒高跳マット前までの約100m>

- ・リレーの練習は、第2コーナー（第2ゲート前付近）の8・9レーンのみとする。

②マーカー、ミニハードル等の道具を利用しての練習はできない。

### (2)雨天練習場

①雨天練習場でのピストルの使用は禁止する。

②雨天練習場へは、第2ゲート側の入口より入場すること。第3ゲート側からの出入りは禁止する。

③シート等を敷いて独占的な使用をすることは禁止する。

④ウォーキング・ジョギングなどペースが著しく遅いウォーミングアップまたは、動きづくり程度の練習は行ってもよい。

⑤ウォーキング・ジョギング等は、左回りとし、逆走はしない。

⑥道具（マーカー、ミニハードル、ラダー、ハードル等）を使用した練習は禁止とする。

### (3)フィールド競技の練習について

今大会では補助競技場が使用できないことから、現地での招集完了後、陸上競技場内ピットで練習をすることができる。ただし、安全面とともに他の競技に影響が出ないように十分に留意すること。また、審判員の指示に従い、準備の妨げにならないようにすること。

## 2 スパイクシューズの制限について

全天候競技場であるため、スパイクの長さは9mm以下とする。ただし、走高跳は12mm以下とする。

## 3 アスリートビブスについて

(1)アスリートビブスは、指定された数字が明瞭に見えるようにユニフォームの胸と背につけること。ただし、跳躍競技（走高跳・棒高跳・走幅跳・三段跳）に出場する競技者はどちらか一方でもよい。

(2)トラック競技に出場する競技者は、主催者が準備した腰ナンバー標識を必ずパンツの左右横やや後方につけること。

(3)男子共通3000mについては、別ナンバーカードを招集所にて配布する。

#### 4 招集について

- (1)招集場所は、第2ゲート付近とする。
- (2)招集時刻は、競技時間を確認すること。また、以下の点に注意すること。
  - ①フィールド競技は、現地で招集を行う。
  - ②参加人数の多いトラック競技については、段階的に招集を行うので、競技時間に記載している招集開始時刻や招集完了時刻を確認すること。
- (3)招集完了時刻に遅れた競技者は、棄権とみなす。
- (4)リレーのオーダー表は、招集完了時刻の1時間前までに招集場所に提出すること。オーダー用紙は招集場所で受け取ること。

リレーオーダー表提出完了時刻 女子 14:35 男子 14:55
- (5)2種目を同時に兼ねて出場する競技者は、あらかじめ競技者係に申し出ること。

#### 5 競技について

- (1)競技順は、プログラム記載の番号順とする。
- (2)競技者以外は、トラックおよびフィールド内に立ち入ることはできない。
- (3)トラック競技の各レースでの不正スタートは、1回目からすべて失格とする。
- (4)スターターの合図は、英語とする。（「On your marks」「set」）
- (5)短距離走では、選手の安全のため決勝線到着後も自分に割り当てられた走路を走ること。
- (6)レーンで行う競技種目で棄権者があった場合は、そのレーンをあける。
- (7)リレー競技のマーカ―は、各チームで用意すること。マーカ―の使用は1カ所のみとし、使用したマーカ―はそのチームで処理すること。
- (8)跳躍・投てき競技の試技回数は3回とする。また、競技場内での跳躍、投てきの練習は、審判員の指示によって行う。
- (9)三段跳の踏み切り板の位置は、男子10m、女子8mとする。
- (10)競技者は、携帯電話等の通信機器・ビデオ・デジタルカメラ等を競技エリア内に持ち込むことはできない。コーチエリア付近（エリア指定あり）で競技者に手渡して映像を見せることができる。競技者が指定エリア外に機器等を持ち込むことはできない。なお、スタンドから撮影機器を手渡しすることは禁止とする。コーチエリアでのコミュニケーションが終了したら、速やかにコーチエリアから出ること。

#### 6 競技用具について

- (1)競技に使用する用具は、主催者が用意したものを使わなければならない。個人所有のポールの検査は、最終点呼時に跳躍審判が行う。
- (2)練習用としても、個人の用具を競技場に持ち込んではいない。

#### 7 競技場への入退場について

種目別入退場口は以下の通りとする。各ゲートへは競技場外周を利用して移動すること。

第1ゲート：第1・2コーナー付近からスタートするトラック競技

第2ゲート：棒高跳・投てき競技

第3ゲート：走高跳

第4ゲート：第3・4コーナー付近からスタートするトラック競技および走幅跳・三段跳

#### 8 走高跳・棒高跳のバーの上げ方（天候等により変更あり）

走高跳	男子	135(練習)	140~170 まで 5cm 刻み	170 cm以降 3cm 刻み
	女子	115(練習)	120~145 まで 5cm 刻み	145 cm以降 3cm 刻み
棒高跳	男子	190(練習)	201~ 10cm 刻み	
	女子	150(練習)	161~ 10cm 刻み	

9 その他

- (1)やむを得ず棄権するときは、競技者係まで必ず届け出ること。
- (2)応急処置を要する健康上の問題が発生したときは、スタンド下の救護室に連絡すること。
- (3)更衣については、メインスタンド1階更衣室を利用してもよい。
- (4)記録の掲示については、競技終了後、大型映像で表示する。陸上競技場正面玄関付近での記録掲示は行わない。なお、記録速報を愛媛陸協HPから確認できる。
- (5)第72回全日本中学校通信陸上競技愛媛県大会の参加標準記録は、以下の通りである。

第72回全日本中学校通信陸上競技愛媛県大会参加標準記録

男子		女子	
種目	標準記録	種目	標準記録
1年 100m	13"90	1年 100m	14"80
2年 100m	12"80	2年 100m	14"20
3年 100m	12"50	3年 100m	14"00
200m	26"00	200m	30"00
400m	1'02"00		
800m	2'20"00	800m	2'40"00
共通 1500m	4'45"00	共通 1500m	5'20"00
3000m	10'35"00		
110mH	21"00	100mH	19"00
走高跳	1m45	走高跳	1m30
棒高跳	2m50	棒高跳	2m00
走幅跳	5m00	走幅跳	4m20
砲丸投	7m00	砲丸投	8m00
円盤投	基準を設けない	円盤投	基準を設けない
四種競技	基準を設けない	四種競技	基準を設けない
4×100mR	1所属1チーム	4×100mR	1所属1チーム

<備考>

- 1 男子共通400mについては、上記の標準記録を突破していなくても100mもしくは200mの標準記録を突破している者のエントリーを認める。
- 2 四種競技については参加標準記録を設けないが、走高跳の最初の高さを以下の通りとする。  
男子・・・1m40（練習 1m35） 女子・・・1m20（練習 1m15）